

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

令和7年4月17日(木)、小学校6年生と中学校3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。

1 学力調査結果(数値は正答率)

小学校	国語	算数	理科
大崎町平均	57(64)	47(54)	51(－)
鹿児島県平均	67(69)	57(62)	60(－)
全国平均	66.8(67.7)	58.0(63.4)	57.1(－)
中学校	国語	数学	理科(IRTスコア)
大崎町平均	48(52)	39(43)	457
鹿児島県平均	53(56)	45(50)	493
全国平均	54.3(58.1)	48.3(52.5)	503

※()内の数は、令和6年度の結果。ただし、理科は実施せず。

2 児童質問紙によるクロス集計(質問への回答と検査結果の関係)

(1) 小学校6年生

質問の概要	質問紙回答	大崎町児童の正答率		
		国語	算数	理科
朝食を毎日食べていますか	毎日	58.5	48.6	53.1
	どちらかといえば毎日	39.3	33.3	33.3
	どちらかといえば食べない	45.2	25.0	31.4
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	同じ時間	59.3	50.0	55.5
	どちらかといえば同じ時間	55.6	48.4	49.4
	同じ時間ではない	50.0	32.2	39.8
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	あてはまる	59.5	50.0	49.0
	どちらかといえばあてはまる	58.6	50.3	56.6
	どちらかといえばあてはまらない	42.1	24.4	32.4
	あてはまらない	35.7	18.8	17.6
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか	あてはまる	59.9	51.4	54.3
	どちらかといえばあてはまる	56.3	47.1	53.3
	どちらかといえばあてはまらない	49.2	32.6	33.3
	あてはまらない	42.9	37.5	29.4

※クロス集計から「規則正しい生活」ができている児童ほど正答率が高い傾向が見られます。また、自分から学ぼうとする「主体的な学習」の意識が高い児童や「実生活に結び付けて」考えたり、生かしたりする児童ほど正答率が高い傾向にあります。学習したことを生活に、実生活で体験したことを学習に生かすことで学力の定着が図られています。